



足立区議会議員

生まれて安心 暮らして安全 歩いて楽しい 足立区に。

長谷川たかこ



www.takahase.com

2008年・秋

区議会レポート

1973年3月16日生まれ。中央大学法学部卒。衆議院議員 岩國哲人(前出雲市長)元秘書。

家族:夫・娘2人(11歳・8歳)、青山学院大学大学院法学研究科在籍中。

現在、足立区議会議員、産業環境委員会 委員、足立区議会民主党 副政調会長をつとめる。

[本号の主な内容]

第3回定例会・一般質問の内容 / 活動成果ご報告

発行:足立区議会議員 長谷川たかこ

〒120-8510 足立区中央本町 1-17-1

TEL/FAX 03-6380-6682

E-mail info@takahase.com

9月25日、平成20年第3回定例会において、本会議場で一般質問を行いました。今回は、15分と時間が限られていましたが、「ユニバーサルデザインを導入した街づくり」と「子ども政策」の大きく2つのテーマについて、現状の問題を指摘し、さまざまな提案をいたしました。

ユニバーサルデザインを導入した街づくり

ユニバーサルデザインとは・・・一言でいえば、「みんなにやさしい、だれにもやさしい」ということです。

例えば、駅の階段に「車椅子専用のリフト」をつけるというのは、従来の「バリアフリー」の考え方です。使えるのは、車椅子の方だけです。しかし、ここに「エレベータ」を取り付ければ、障害を持った方、お年寄りなどいわゆる弱者と呼ばれる人の助けになることはもちろん、小さなお子さんを連れた方、重い荷物を持った方、疲れていて、ちょっと楽をしたい方など、全ての人が利用でき、みんなにやさしい施設になります。

このように特定の人のための「バリアフリー」という考え方でなく、みんなにやさしいという「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れ、足立区の街づくりを進めるべきだと思います。

具体的には、公共施設の段差の解消などはもちろん、案内板や地図などの文字の大きさ、色使いの配慮、多言語化の導入などを求め、それらを推進するための条例の制定や推進部署の新設を提案しました。



9月25日、一般質問を行う長谷川たかこ。

ユニバーサルデザインの7原則

- 使う上で自由度が高いこと
- 使い方が簡単で、すぐに分かること
- 必要な情報がすぐに分かること
- うっかりミスが危険につながらないこと
- 身体への負担(弱い力でも使えること)
- 接近や利用するための十分な大きさと空間を確保すること

足立区の将来を担う「子ども政策」

子どもは、地域の宝です。

今後、足立区が継続的に発展していくためには、将来を担う子どもたちを、地域で育てていくことは、大変重要な政策といえます。

足立区が現在進めている「子育てサロン」は、多くの区民の皆さんに利用され、その拡充が求められていますが、施設の確保や場所等に課題もあるようです。

そこで、商店街の空き店舗を利用することにより、商店街の活性化も同時に期待できる提案を行いました。

また、スペース等の問題を解決するために、従来の

全てのサービスを行うのではなく、一部のサービスだけでも開設するような「簡易版の子育てサロン」の導入を提案しました。

この他、事故や災害から子どもたちを守ることを目的に、各学校に設置されているAEDの利用講習会の開催や、都市型の水害に備えた着衣水泳授業の全校での実施などを求めました。



商店街の空き店舗を「子育てサロン」に活用するよう提案しました。

活動成果ご報告

おかげさまで徐々に浸透しつつあります

カラーユニバーサルデザインの導入

昨年の12月に「みんなにやさしい色使い・カラーユニバーサルデザインの導入」について、提案いたしました。

その後、「職員や教員を対象とした研修会」が行われ、「日暮里・舎人ライナーの駅の案内表示」、「あだち広報」、「ゴミ分別マップ」などにカラーユニバーサルデザインが導入されました。

また、区へのカラーユニバーサルデザインの導入が提案型事業として、NPOとの協働事業に認定されるなど、その取り組みは着実に進んでいます。

限られた予算を最大限活かしましょう

赤ちゃんほっとスポット事業の見直し

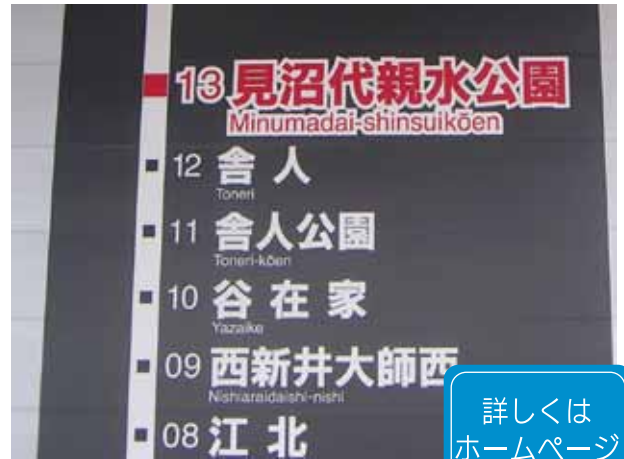
今年の7月から始まっている「赤ちゃんほっとスポット事業」は、当初、区内89か所の全ての公私立保育園で、看板代などとして、およそ450万円の予算で行うとの事業案でした。

しかし、他区での同様の事業の視察や調査を行い、「利用される保育園に大きな偏りがある」、「もっと低額で案内板は作成できる」ことなどを指摘し、「公園や駅に近く利用者が見込める保育園で先行実施する」等を、所属していた「少

子化対策特別委員会」などで提案しました。

その結果、駅などに近い保育園18か所を選定して実施し、予算も高額な看板でなく備品等に充てるということで、当初の1/10以下の30万円強で行うという見直しがされました。

限られた予算で、最大の効果を期待できる事業として、7月からスタートしています。



カラーユニバーサルデザインが導入された日暮里・舎人ライナー。

詳しくは
ホームページ
www.takahase.com
をご覧ください

小さな改革が大きな輪に

イベントなどによる地域の活性化

毎年、千住地域の町会などが中心となり、北千住の荒川河川敷で開催されている「灯籠流し」には、準備段階から参加し、地域を盛り上げるだけでなく、足立区全体に広がるイベントとなるように意見交換を行いました。

また、新撰組にゆかりの地「綾瀬」のPRのために地元の方々と話し合いをし、また区の担当者とも話し合いを行った結果、10月には綾瀬で「新撰組」のイベントを行うことも決まっています。

みなさんのお声を区政にお届け

東綾瀬公園やざえもん橋の架け替え

地域の方々より、東綾瀬公園内のやざえもん橋が、老朽化が進み大変危険であるとの相談を受けました。

早速、区の担当者と相談し、対策をお願いいたしました。

その後、やざえもん橋は架け替え工事が行われ、再び、地域の皆さんが安心して利用できるようになりました。

新しくなったやざえもん橋



荒川河川敷の灯籠流し

自転車との接触で重大事故にならないよう働きかけ



「暮らして安全」の足立区に

綾瀬駅東口自由通路の安全の確保

綾瀬駅をご利用になる皆さんより、東口の南北自由通路を自転車に乗ったまま通行し、歩行者との接触など大変危険であるとのお声を頂きました。

私も綾瀬駅をよく利用しますが、危険な自転車等を見かけたことがあります。

従来も、自転車を押して通行することを呼びかける看板は設置されていたものの、小さく目立ちませんでした。

そこで、区の担当者と、綾瀬駅を管理する鉄道事業者と対応を検討し、通路の入り口に自転車ストップマークを付け、柱には自転車を降りての通行を呼びかける新たな看板を設置していただきました。

小さなお子さんからお年寄りまで、さまざまな方が利用する通路です。利用する皆さんのマナーの向上に期待します。

このように、区政全体にかかわることだけでなく、地域の皆さんのお声もしっかりと行政に伝え、担当部署に迅速な対応を求めています。改革とは出来ることから、ひとつずつ変えていくことです。この積み重ねが、将来的に足立区を東京23区で最も暮らしやすい・素敵なお街に変えていけると信じています。皆さんのお声を、ぜひお聞かせください！

☆本会議での質問の様子は、足立区議会のホームページより、議事録および、動画でご覧になれます。また、ご希望の方には、ビデオの貸し出しをいたしますので、ご連絡ください。

☆今回の質問で取り上げた政策のより具体的なことは、長谷川たかこホームページをご覧ください。行政からの答弁書の内容も合わせて紹介しています。

☆ホームページをご覧にならない方はお問い合わせ下さい。